

製品名: SIRT6 (1009) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe17919**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	SIRT6
別名	SIR2L6; SIR2-like protein 6; NAD-dependent protein deacetylase sirtuin-6; Regulatory protein SIR2 homolog 6; Sirtuin 6;
遺伝子 ID	51548.0
SwissProt ID	Q8N6T7
免疫原	ヒト SIRT6 の合成ペプチド

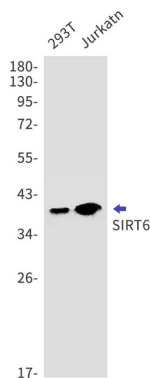
背景

サイレント情報調節因子 (Sir2) ファミリー遺伝子は、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド (NAD) 依存性タンパク質脱アセチル化酵素 (クラス III ヒストン脱アセチル化酵素とも呼ばれる) をコードする高度に保存された遺伝子群です。Sir2 の哺乳類ホモログである SirT6 は、核内クロマチン関連タンパク質であり、塩基除去修復 (BER) 経路を介したゲノム完全性の正常な維持を促進します。NAD 依存性タンパク質脱アセチル化酵素は、テロメア維持や遺伝子発現を含む様々なプロセスに関与しており、結果としてゲノム安定性、細胞老化、アポトーシスに役割を果たします (PubMed:18337721、PubMed:19135889、PubMed:19625767、PubMed:21362626)。非常に弱い脱アセチル化酵素活性を有し、アセチル化された基質が存在しない場合でも NAD(+) に結合することができる (PubMed:21362626)。ヒストン H3K9Ac および H3K56Ac に対して脱アセチル化酵素活性を有する (PubMed:19625767、PubMed:21362626)。細胞周期の S 期において、テロメアクロマチン中のヒストン H3 のアセチル化を調節する (PubMed:19625767)。また、S 期における WRN とテロメアの結合、および正常なテロメアの維持にも必要である可能性がある (PubMed:18337721)。NF- κ B 標的のプロモーターにおいてヒストン H3K9Ac を脱アセチル化し、NF- κ B 標的遺伝子のサブセットの発現をダウンレギュレーションする可能性がある (PubMed:21362626)。ヌクレオソームの脱アセチル化は、RELA の標的 DNA への結合を阻害する (PubMed:19135889)。転写因子 Hif1a のコリプレッサーとして作用し、複数の解糖系遺伝子の発現を制御して血糖恒常性を調節する (類似性による)。正常な IGF1 血清レベルと正常な血糖恒常性に必要である (類似性による)。TNF タンパク質の産生を調節する (類似性による)。寿命調節にも関与する (類似性による)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



SIRT6 抗体 (1:1000 希釈) を使用した 293T、Jurkat 細胞溶解物中の SIRT6 のウエスタンブロット検出。